

One ID 利用者メリット

資料3



搭乗手続きにおける 4つのタッチポイント



One ID顧客メリットの捉え方

【目的】 自動化でスピードアップ、渋滞の解消

例、高速道路→ETC

【要件】 通過で流れを止めない



【空港自動化の課題】

各タッチポイントで旅券・搭乗券を使った本人確認が必要
流れが止まっている→渋滞が解消しない。



【課題解決】

OneIDで旅券・搭乗券の確認が不要に。
空港手続きのETC化が可能に。



One IDの利便性展開

ラウンジ入室時の利用

ユニバーサルデザイン

One ID機器には世界標準の障害者基準を導入



省人化



少子化に伴う生産低下、訪日
旅客増加による需要増加の問題をOne IDによるシステム化で
解決。

また、省人化による人材有効活用により、One IDを利用しない
旅客への対応も適切に実施。